

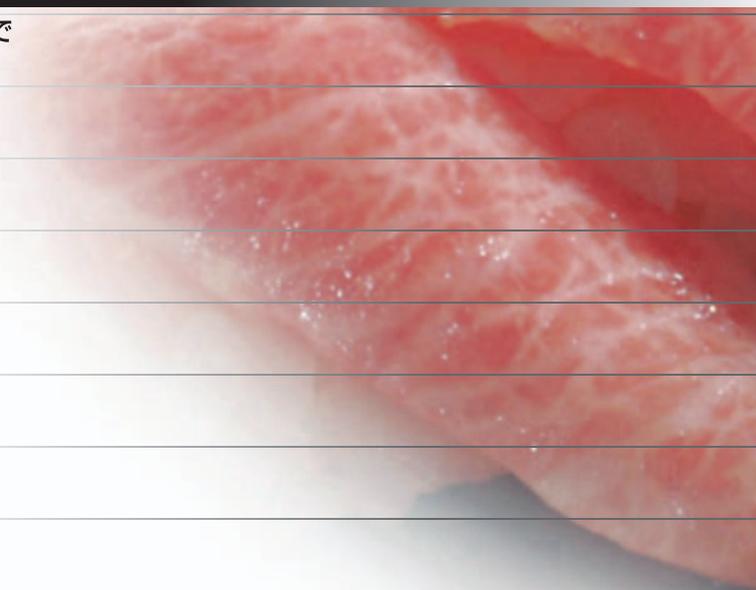
Marine



第21期中間事業報告書

平成17年11月1日から平成18年4月30日まで
株式会社 **マリノポリス**

Polis



マリンポリスは回転寿司の全国チェーン化を通じて 「5つの約束」（おいしい、新鮮、安い、安心、楽しい）を実践し、 発展を目指します。

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、ここに、当社第21期中間期（平成17年11月1日から平成18年4月30日まで）の営業の概況と決算につきまして、ご報告申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、企業収益の改善に加え、設備投資が拡大、また個人消費も緩やかに回復し、景気は回復基調のうちに推移いたしました。

しかし、外食産業におきましては、市場規模が平成10年以降8年間連続して縮小するという厳しい状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループは平成17年11月、社長の交替を機に、新社長の経営方針と事業戦略（①企業風土の確立、②労働環境の改善、③予算の達成、④マネージャー制の確立、⑤本部バックアップ体制の強化、⑥成果主義の徹底、⑦新規事業の推進）を全役職員に周知徹底し、活気ある店づくり、楽しい職場づくりに取り組んでまいりました。

当中間連結会計期間の新規出店につきましては、国内13店舗（直営11、FC2）、海外1店舗（直営1）を出店し、一方で不採算店等15店舗（直営8、FC7）を退店いたしました。なお、国内13店舗のうち4店舗は、多角化を視野に入れた新規事業への取り組みに伴い、レッドスパイス（スープカレー）2店舗、ほんじょ屋（居酒屋）1店舗、JAVA（洗

車場）1店舗を新規出店したものであります。これらにより、当中間連結会計期間末の店舗数は、マリンポリス26店舗（直営17、FC9）、シーじゃく115店舗（直営84、FC31）、まぐろ三昧1店舗（直営1）、レッドスパイス2店舗（直営2）、ほんじょ屋1店舗（直営1）、JAVA1店舗（直営1）の合計146店舗（直営106、FC40）となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高5,395百万円（前年同期比0.4%減）、経常利益88百万円（同18.0%減）となりました。また、「固定資産の減損に係る会計基準」の適用に伴う減損損失等の特別損失535百万円を計上したことから、中間純損失358百万円（前中間連結会計期間は中間純利益41百万円）となりました。

株主の皆様には、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年7月



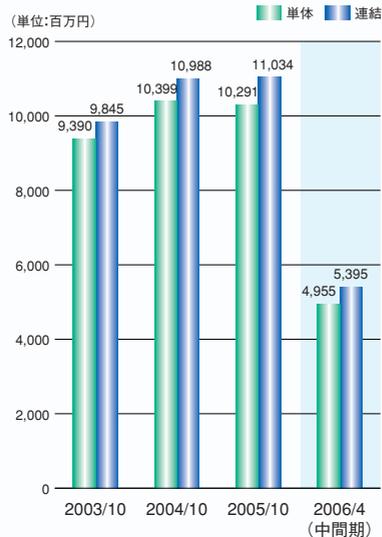
代表取締役会長 山野井 孝允



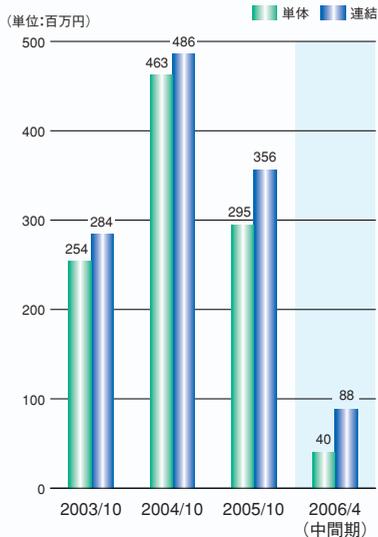
代表取締役社長 山野井 啓雄

財務ハイライト

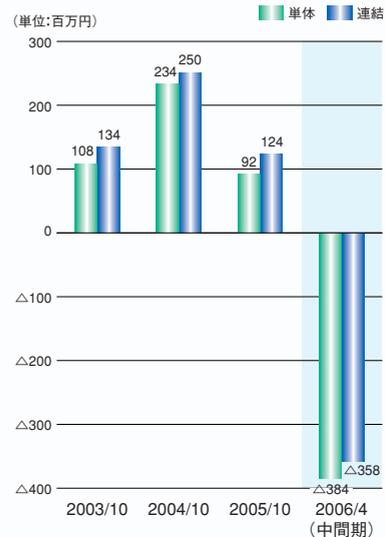
売上高



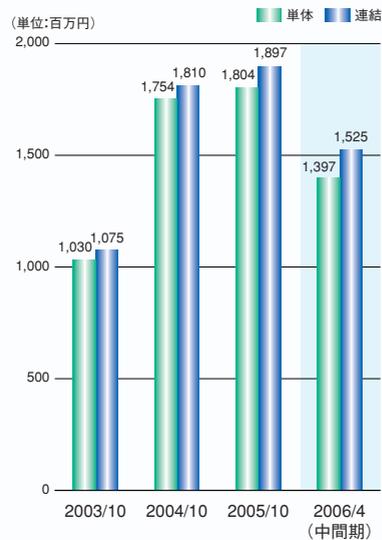
経常利益



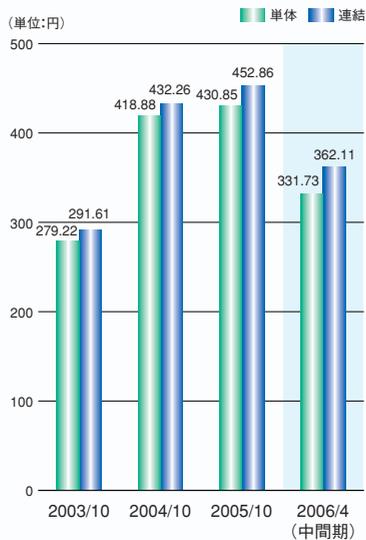
中間(当期)純損益



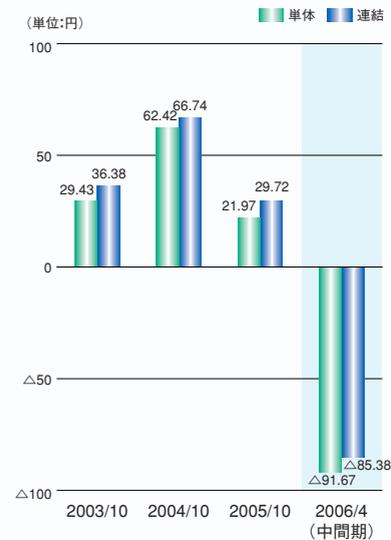
純資産



1株当たり純資産



1株当たり中間(当期)純損益



中間財務諸表（連結）

中間連結貸借対照表

	当中間期	前中間期
	2006年4月30日現在	2005年4月30日現在
（資産の部）		
流動資産	2,041	1,958
現金及び預金	1,539	1,635
受取手形及び売掛金	70	39
たな卸資産	87	100
その他	345	183
貸倒引当金	△ 2	△ 0
固定資産	3,994	4,167
有形固定資産	2,716	2,918
建物及び構築物	1,775	1,837
機械装置及び運搬具	476	411
土地	174	374
その他	290	295
無形固定資産	65	61
投資その他の資産	1,212	1,188
差入保証金	767	853
その他	454	340
貸倒引当金	△ 9	△ 6
資産合計	6,036	6,126

(単位：百万円)

	当中間期	前中間期
	2006年4月30日現在	2005年4月30日現在
（負債の部）		
流動負債	2,808	2,706
支払手形及び買掛金	978	821
短期借入金	—	220
1年以内返済予定長期借入金	846	767
未払金	488	443
未払法人税等	41	57
賞与引当金	69	63
その他	383	334
固定負債	1,702	1,617
長期借入金	1,466	1,409
役員退職慰労引当金	94	94
その他	141	113
負債合計	4,510	4,324
（資本の部）		
資本金	572	572
資本剰余金	616	600
利益剰余金	339	653
為替換算調整勘定	△ 3	△ 24
資本合計	1,525	1,802
負債・資本合計	6,036	6,126

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	当中間期	前中間期
	2006年11月1日から 2006年4月30日まで	2004年11月1日から 2005年4月30日まで
（経常損益の部）		
売上高	5,395	5,416
売上原価	2,310	2,330
売上総利益	3,084	3,085
販売費及び一般管理費	3,010	2,987
営業利益	74	97
営業外収益	57	41
受取利息	5	2
賃貸料収入	18	13
自動販売機収入	11	10
加盟店連約金収入	8	—
販売協賛金収入	5	6
上場祝金収入	—	5
その他	8	2
営業外費用	43	30
支払利息	16	15
貸倒引当金繰入額	6	—
賃貸原価	18	15
その他	1	0
経常利益	88	108
（特別損益の部）		
特別利益	1	—
固定資産売却益	1	—
特別損失	535	13
固定資産売却損	3	0
固定資産除却損	6	10
賃借店舗解約損	27	2
減損損失	498	—
税金等調整前中間純利益(△純損失)	△ 445	94
法人税、住民税及び事業税	39	46
法人税等調整額	△ 126	6
中間純利益(△純損失)	△ 358	41

中間財務諸表（単体）

中間連結剰余金計算書

(単位：百万円)

	当中間期 2005年11月1日から 2006年4月30日まで	前中間期 2004年11月1日から 2005年4月30日まで
(資本剰余金の部)		
資本剰余金期首残高	600	600
資本剰余金増加高	15	—
合併差益	0	—
自己株式処分差益	15	—
資本剰余金中間期末残高	616	600
(利益剰余金の部)		
利益剰余金期首残高	736	654
利益剰余金増加高	3	41
中間純利益	—	41
合併による増加高	3	—
利益剰余金減少高	400	41
中間純損失	358	—
配当金	41	41
利益剰余金中間期末残高	339	653

中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

	当中間期 2005年11月1日から 2006年4月30日まで	前中間期 2004年11月1日から 2005年4月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	693	217
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 473	△ 309
財務活動によるキャッシュ・フロー	483	494
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	△ 3
現金及び現金同等物の増加額	709	399
現金及び現金同等物の期首残高	812	1,236
合併による現金及び現金同等物受入高	17	—
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,539	1,635

中間貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

	当中間期 2006年4月30日現在	前中間期 2005年4月30日現在
(資産の部)		
流動資産	1,902	1,889
固定資産	3,852	4,116
有形固定資産	2,445	2,727
無形固定資産	65	61
投資その他の資産	1,340	1,327
資産合計	5,754	6,005
(負債の部)		
流動負債	2,688	2,663
固定負債	1,669	1,602
負債合計	4,357	4,266
(資本の部)		
資本金	572	572
資本剰余金	616	600
利益剰余金	208	566
資本合計	1,397	1,739
負債・資本合計	5,754	6,005

中間損益計算書(要旨)

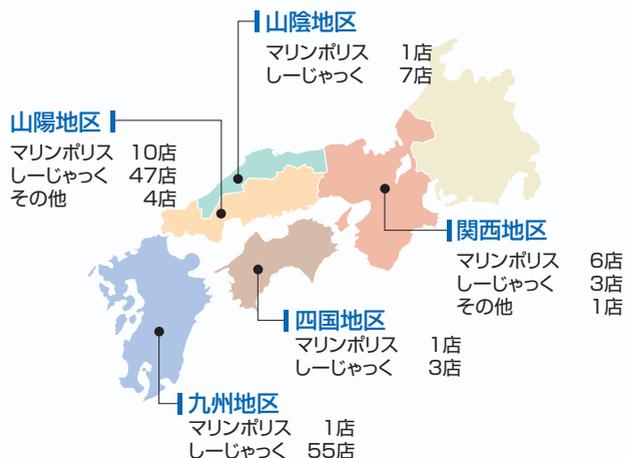
(単位：百万円)

	当中間期 2005年11月1日から 2006年4月30日まで	前中間期 2004年11月1日から 2005年4月30日まで
(経常損益の部)		
売上高	4,955	5,085
売上原価	2,163	2,218
売上総利益	2,792	2,867
販売費及び一般管理費	2,764	2,789
営業利益	27	77
営業外収益	56	42
営業外費用	43	30
経常利益	40	89
(特別損益の部)		
特別利益	1	—
特別損失	535	13
税引前中間純利益(△純損失)	△ 493	75
法人税、住民税及び事業税	16	46
法人税等調整額	△ 125	3
中間純利益(△純損失)	△ 384	26
前期繰越利益	129	78
合併による未処分利益受入額	3	—
中間未処分利益(△未処理損失)	△ 252	105

店舗展開

国内

(平成18年4月30日現在)



西日本エリアを中心に展開



マリンポリス南観音店



しーじゃっく白楽町店



しーじゃっく那珂川店店内

海外(アメリカ合衆国)

(平成18年4月30日現在)

MARINE POLIS SUSHI LAND

- ビーバートン店 (オレゴン州ビーバートン)
- ベルビュー店 (ワシントン州ベルビュー)
- クラカマス店 (オレゴン州クラカマス)
- クイーンアン店 (ワシントン州シアトル)
- バンクーバー店 (ワシントン州バンクーバー)
- ロイド店 (オレゴン州ポートランド)
- パール店 (オレゴン州ポートランド)



ロイド店

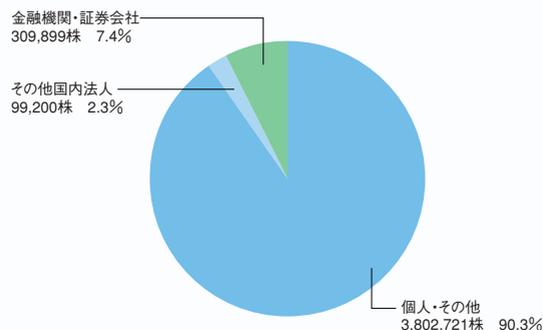
株式の状況／会社の概要

株式の状況 (平成18年4月30日現在)

会社が発行する株式の総数	13,000,000株
発行済株式の総数	4,211,820株
株主数	6,143名
大株主	

株主名	当社への出資状況	
	持株数 株	出資比率 %
山野井 孝 允	1,216,300	28.87
山野井 博 基	307,128	7.29
山野井 久美子	265,782	6.31
山野井 健 二	230,346	5.46
山野井 洋 子	153,564	3.64
山野井 啓 雄	102,000	2.42
マリンポリス従業員持株会	100,600	2.38
株式会社 中国銀行	90,000	2.13
株式会社 伊予銀行	70,000	1.66
株式会社三菱東京UFJ銀行	45,000	1.06

所有者別株式分布状況



会社の概要 (平成18年4月30日現在)

商号	株式会社 マリンポリス
設立	昭和60年11月
資本金	572,405,000円
従業員数	292名 (連結 310名)
主要な事業内容	当社は、主として、回転寿司のチェーンを直営店舗とフランチャイズ店舗にて経営しており、その他に、スープカレー店の経営、自動車用駐車場の管理・運営、損害保険代理店業を行っております。その事業内容は次のとおりであります。

- 飲食事業
 - 「まわるお寿司の国 マリンポリス」「105円寿司レージャック」「まぐろ三昧」等回転寿司直営店舗の運営および「レッドスパイス」(スープカレー店)直営店舗の運営
 - 回転寿司フランチャイズ店舗よりのロイヤリティ、加盟金等収入および厨房機器・資材等供給手数料等
- 洗車事業その他
 - 自動車用洗車場「JAVA」における洗車サービスの提供
 - 損害保険代理店業務

ホームページアドレス <http://www.marinepolis.co.jp>

役員 (平成18年4月30日現在)

代表取締役会長	山野井 孝 允
代表取締役社長	山野井 啓 雄
専務取締役	高 橋 昭 夫
常務取締役	平 井 治 雅
常勤監査役	畝 田 拓 生
監査役	寺 尾 耕 治
監査役	干 田 浩 逸

■株主メモ

決算期	毎年10月31日
定時株主総会	毎年1月
基準日	毎年10月31日 なお、その他必要があるときは、取締役会の決議により、あらかじめ公告のうえ基準日を定めます。
配当金受領株主 確定日	利益配当金 毎年10月31日 なお、中間配当を実施するときの株主確定日は4月30日といたします。
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜二丁目4番6号 株式会社だいこう証券ビジネス
同事務取扱場所	〒541-8583 大阪市中央区北浜二丁目4番6号 株式会社だいこう証券ビジネス 本社証券代行部
(各種お問合せ)	電話(通話料無料) 0120-255-100 ※株式関係のお手続き用紙のご請求は次の電話番号およびインターネットで24時間承っております。 手続き用紙請求電話(通話料無料) 0120-351-465 インターネットホームページ http://www.daiko-sb.co.jp
同取次所 単元株式数 公告方法	株式会社だいこう証券ビジネス 各支社 100株 電子公告により、当社のホームページに掲載いたします。 アドレス http://www.marinepolis.co.jp ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。

株主優待制度

毎年10月31日ならびに4月30日現在の株主様に対し、当社全店舗（海外店舗等一部店舗を除く）でご利用いただけるご飲食優待券を次の基準により贈呈いたします。

- ・100株以上1,000株未満ご所有の株主様に対し、2,000円相当のご飲食優待券
 - ・1,000株以上ご所有の株主様に対し、10,000円相当のご飲食優待券
- なお、ご飲食優待券と引き換えに、当社指定商品と交換可能です。



株式会社 マリンポリス

〒700-0924 岡山県岡山市大元二丁目4番5号
<http://www.marinepolis.co.jp>